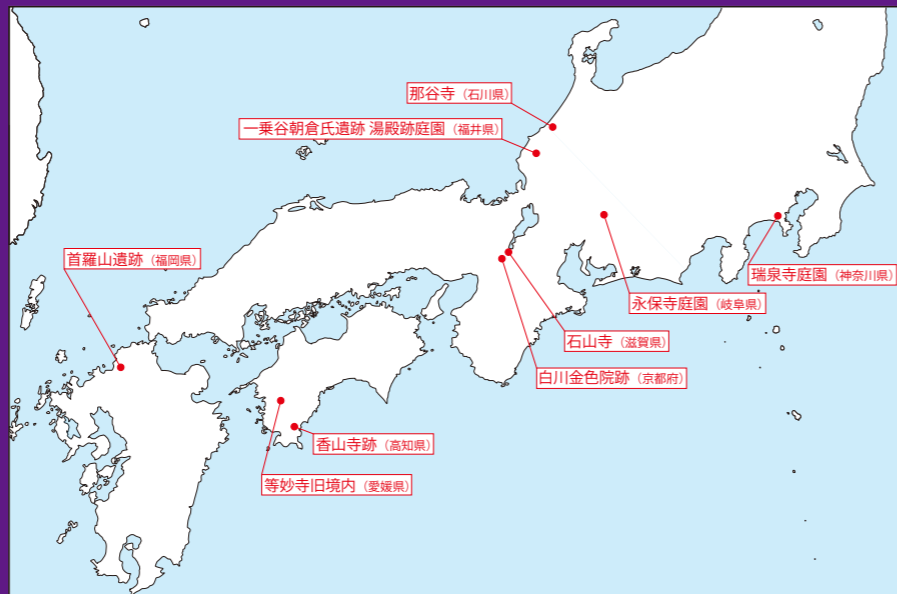


### Ⅲ 各地に展開した補陀落山見立ての池・岩崖・観音

もうひとつの浄土系庭園ともいうべき、岩崖上や窟内の仏堂に観音を祀り、手前に池を設けるといった「かんのんじょうど ふだらくさん観音浄土 補陀落山」を見立てた庭園が近年注目されています。その系譜は、石山寺（滋賀県）や那谷寺（石川県）などの奈良・平安時代創建の密教寺院にはじまり、なただら首羅山遺跡（福岡県）や等妙寺旧境内などの山寺遺跡、むそうそせき夢窓疎石築庭のえいほうじ永保寺庭園（岐阜県）、さらに一乗谷朝倉氏遺跡湯殿跡庭園（福井県）といった戦国城館内の築庭にまで及びました。



各地の補陀落山見立ての苑池



首羅山遺跡 西谷地区の苑池



香山寺跡 環状にめぐる池跡の立石



永保寺庭園 観音堂と池、岩崖



一乗谷朝倉氏遺跡 湯殿跡庭園



# 山寺等妙寺の信仰空間

— 池・伝観音堂跡の発掘調査速報展 —

【企画展】

令和3年度鬼北町埋蔵文化財活用事業  
愛媛県主催「『えひめの記憶』をみる・はなす・きく」共同企画

愛媛県鬼北町教育委員会

EHIME PREFECTURE KIHOKU TOWN BOARD OF EDUCATION

【主要参考・引用文献】  
鬼北町教育委員会編 2021『史跡 等妙寺旧境内一平坦部A(如意頭院跡) 発掘調査報告書(第2分冊)』  
久保智康 2021「もう一つの“浄土系”庭園—観音浄土補陀落山の見立てと岩崖・窟そして池〜」『令和3年度日本庭園学会全国大会研究発表会・オンライン座談会資料集』日本庭園学会ほか

第一刷 令和3年(2021)11月20日 第二刷 令和4年(2022)1月31日/編集・発行 鬼北町教育委員会/印刷 佐川印刷株式会社

## I 山寺等妙寺、池・伝観音堂跡を掘る

史跡の保存目的で実施している等妙寺旧境内の発掘調査では近年、旧境内中心部の如意頭院跡（平坦部A）Ⅲ区庭園地区と、その上方に位置する観音堂跡と伝わる平坦部A-2の発掘調査を行いました。

発掘調査の結果、Ⅲ区庭園地区では滝や池からなる庭園遺構が検出され、それらの大部分は等妙寺開山以降の所産であることが判明し、大きく2時期の変遷が確認されました。

また、平坦部A-2では伝承のとおり、観音堂跡と考えられる小規模な礎石建物跡が見つかりました。

Ⅲ区庭園地区で採取された炭化材の一部や、平坦部A-2で検出された護摩跡と考えられる複数の炭・焼土集中遺構の炭化材の年代は、等妙寺開創以前である鎌倉時代の年代を示し、同一面に伴う礎石も一石検出されました。



平坦部A全景（北東上空より）



Ⅲ区庭園地区全景（北上空より）



池SG01全景（南より）



平坦部A-2全景（西より）



炭・焼土集中遺構 調査状況（南より）

## II 山寺等妙寺、開創前夜の信仰空間 - 池・岩崖・観音 -

池・伝観音堂跡の発掘調査により等妙寺開山以前の段階にすでに信仰空間として成立していた可能性が見えてきました。その手がかりとなるのは「池・岩崖・観音」です。

古代・中世における寺院庭園には鑑賞を目的とする以前に、築造に明確な仏教思想を読み取ることのできる事例が見られます。特に岩崖上や窟内の仏堂に観音を祀り、手前に池を設ける形態は、「かんのんじょうと ふだらくさん観音浄土 補陀落山」を見立てたとの説があり、その代表例が滋賀・石山寺の苑池です。

等妙寺旧境内で見つかった池・岩崖・観音からなる空間は、景観やかつて伝観音堂跡に祀られていたであろう如意輪観音像などの諸特徴から、「石山寺を多分に意識し築造された」と評価されています。



石山寺という寺号を象徴する岩塊



那谷寺 池と岩崖



等妙寺旧境内 如意頭院跡の池、岩崖と観音堂跡の景観（東より）



等妙寺 木造菩薩遊戯坐像  
(伝如意輪観音像) 像容の検討